

# 職場の教養

6

2025  
JUNE

職場の教養

6月号

2025(令和7)年6月1日発行  
(毎月1回1日発行)  
第50巻の号 通巻1094号

編集人 三浦貴史  
発行人 和田 毅

一般社団法人 倫理研究所  
<https://www.rinri.jp/or>

本誌は非売品で、倫理研究所の法人会員に毎月  
無料で贈呈しています。入会のお申し込み  
お問い合わせは、倫理法人会事務局/03-5561-0101



一般社団法人 倫理研究所

## 第20回 しきなみ 子供短歌 コンクール

こどもたんか

寄せられた短歌、  
58,514首。  
入賞作品が決定

倫理研究所は、  
日本の文化を、  
次の世代につなげるため、  
子供たちの短歌作りを  
応援しています。

「第20回しきなみ子供短歌コンクール」には全国の  
小学校1,188校より58,514名の応募がありました。  
厳正なる選考の結果、「しきなみ子供短歌  
賞・文部科学大臣賞」3名、「特選」20名、「入選」  
289名、「佳作」480名が決定しました。令和7年  
2月16日、紀尾井清堂にて表彰式を開催しました。

【主催】一般社団法人 倫理研究所  
【後援】文部科学省、全国民間放送ラジオ局37社

しきなみ子供短歌賞  
文部科学大臣賞  
※学年は応募当時のものです

「低学年の部」  
千葉県 印西市立牧の原小学校 一年 鶴川隼士  
はがぬけたいちねんせいなのつやすみ  
にっこりわらうとかぜのどんねる

「中学年の部」  
鹿児島県 鹿屋市立田崎小学校 三年 小園奈央  
たんぽにはカエルがたくさんすんでいた  
じゃましてごめいねかりするね

「高学年の部」  
千葉県 四街道市立栗山小学校 五年 ジエロー雪乃  
私とは景色の違う見えかたの  
戦火の子ども何色の空

所属

氏名



## 今日の心がけ◆まずは「一歩踏み出しましょう」

営業部門に所属するJ氏は、英語に対して苦手意識を持っていました。〈完璧に文法を覚えなければならぬ〉〈発音が間違っていたらどうしよう〉といった学生時代の不安が、苦手意識を加速させていたのです。ある日、業務で海外に行くことになりました。空港や機内で英語の必要に迫られ、たどたどしくも簡単な単語で伝えました。すると、言葉が通じたのです。少し自信がついたJ氏は、逆の立場をイメージしてみました。日本語が苦手な外国人が自分に話しかけてきた場合、たとえ完璧な文法や発音でなくても、相手の言葉や真意を理解しようと努めます。そう思うと苦手意識が薄れてきたのです。それからJ氏は、さらなるレベルアップを目指して英語学習を始めました。完璧を求めず、楽しみながら続けることで、学習意欲も高まってきたのです。他の場合でも、例えばプレゼンテーションが苦手な人は、身近な人の前など、まずは小規模の場で練習を重ねることで自信をつけることができます。考えすぎずに、まずはやってみるといいうことを大切にしたいものです。

環境省が推奨する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の一環として、オフィス服装改革があります。これは、働きやすい軽装を呼びかけると共に、衣服の生産から着用、廃棄に至るまで環境負荷を考慮したファッションを奨励するものです。さらに、カジュアルな服装はリラックスした雰囲気を作り出し、コミュニケーションの活性化やチームワークの向上にも寄与することが期待されています。しかし、カジュアルな服装が許されると、身だしなみが乱れ、他者に不快感を与えることもあります。社会人として職場の雰囲気や業務内容に適した服装を選ぶことは、どのような職場でも大切です。身だしなみとは、頭髮や服装を整え、言葉や態度をきちんとして人に不快な感じを与えないようにする日常の心がけです。多様な人々が集まる職場では、個々のスタイルを尊重しつつも、他者への配慮を忘れず、相手も自分も気持ちの良い服装を心がけたいものです。

## 今日の心がけ◆他者への配慮を大切にしましょう

## 日本再発見! -ニク脊椎動物の公園(世界編)-

スカンセン  
(スウェーデン)

ストックホルムのユールゴーデン島にあるスカンセンは、1891年に設立された世界最古の野外博物館だ。約30万㎡の敷地内には伝統的な建物や農園、庭園などがあり、北欧を代表する動物に出合える動物園もある。動物は冬のほうが活

動的で、なかでもサンタクロースのソリを引くことで知られるトナカイは子供に大人気だ。シカの仲間である最大のヘラジカはトナカイの倍近い大きさで、オスのツノは、春から夏にかけて手のひら状に広がり2mほどに発達する。





今日の心がけ◆自然環境を守りましょう

満たすと、ホテルを観賞できる確率が上がります。  
近年では条件を満たす場所が徐々に減ってきています。水をきれいに保つ意識を一人ひとりが持つことで環境を守っていきましょう。

六月は日本各地でホテルが観賞できます。時間帯は、日没後から飛び始め、二十時から二十一時頃がホテルの活動のピークとされています。その淡い光の美しさに魅了されたことのある人もいますでしょう。  
この時期にしか見ることのできないホテルを観賞するために、休日に旅行を兼ねて各地の生息地に足を運んでみるのもよいかもしれません。  
世界では二千種以上いると言われているホテルですが、日本には約五十種が生息し、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの三種が有名です。

生息条件は種によって違いはあるものの、きれいな水で流れがゆるやか、餌となるカワニナ等の巻貝がいる、人工照明が届かない、木陰や苔がある等です。

ホテルが飛びやすい条件もあり、蒸し暑い、風がない、雨が降っていない等を満たすと、ホテルを観賞できる確率が上がります。

近年では条件を満たす場所が徐々に減ってきています。水をきれいに保つ意識

日本再発見! -エゾ脊椎動物のいる公園(世界編)-

サンディエゴ動物園  
(アメリカ)

約650種の動物を飼育しており、バックヤードツアーなど間近で動物を観察できるプログラムが充実している。ここで人気のオウギワシはパナマ共和国の国鳥でもあり、その名の通り頭頂部に扇状の羽をもち、威嚇時などに羽を逆立てた姿

A氏は、素材の良さをそのまま活かし、自然の調味料だけでハムを作っています。その素朴な味わいが好評で、店頭に並ぶと瞬く間に売れていきます。  
この商品は、数年の研究期間を経て、試行錯誤を繰り返しながらようやく完成しましたが、商品開発のきっかけはあるお客様の言葉でした。

ある日、一人の女性客が来店し「こちらのハムの塩分量はどれくらいですか」と尋ねてきました。

A氏が「どうして塩分量を知りたいのですか」と逆に質問すると、そのお客様の家族が透析治療中で、一日の塩分摂取量が制限されていることを知りました。塩分量を考えるとハムもわずかな量しか食べられなかったのです。

そこでA氏は、塩分量を抑えたハムを作る約束をしました。そして、完成したハムを食べてみると、これまでになく素材の旨みが口の中に広がりました。A氏はこのハムをメインの商品にすることを決意したのです。

目の前のお客様のために、何ができるのか真心で考えたいものです。

今日の心がけ◆最善を尽くしましょう

は猛禽類の王者のようだ。体重5～9kgと飛行する鳥の中では最も重く、翼を広げると2mに達するものもいる。脚は子供の手の首ほど太く、長い爪で樹上に暮らすサルやナマケモノ、イグアナなどを捕らえて食べる。





SNSなどのソーシャルメディアでは、購入した物を紹介したり自慢したりする投稿が多い一方、昨今では「買わないこと」の投稿が増えてきています。アメリカでは不要な買い物を控える消費習慣を見直す「NO BUY 2025」が注目されています。その背景には物価高や環境問題があるようです。

この取り組みの一例として、①気になる物があつたら、写真などを撮って保存する。②月末までに一度も考えなかったら、写真を削除する。③三カ月後に写真が残っていたら貯金の範囲内で購入する、といったものがあります。

新しい商品を見つけて、〈欲しい〉と感じてすぐさま購入し、後々ほとんど使わなかったというケースはないでしょうか。

使わない物を買ってしまったら、同じような物を複数所有していたりして、管理や置き場に困っているという声も聞かれます。

「衝動買い」による無駄な浪費を防ぎ、本当に必要なものにお金を使いたいのです。そうすれば物を大切にし、ふさわしく活用できるでしょう。

今日の心がけ◆物の必要性を確認しよう

雨の多い時期を迎えています。湿気が苦手な人もいることでしょう。

この独特な時期を日本では「梅雨」と呼びます。梅雨は東アジア特有のもので、六月から七月にかけて吹く季節風がもたらす梅雨前線によって、長雨が続く現象を指します。

長雨を表現する言葉には様々な種類があります。例えば三月中旬から四月上旬にかけての「菜種梅雨」、秋の長雨を意味する「秋霖」、十一月下旬から十二月上旬にかけての「山茶花梅雨」など、季節を表わす雨の名称が多くあります。

洗濯物がなかなか乾かず、早く梅雨明けを待ち望む人もいるかもしれませんが、雨が多く降ることには恩恵もあります。

例えば、日本食に欠かせない米には雨が必要不可欠です。空梅雨で日照りが続けば、稲は育ちません。梅雨は田んぼに大量の水を供給してくれる恵みの雨であり、歓迎すべき季節なのです。

梅雨の時期に、感謝の気持ちを持って過ごしたいものです。

今日の心がけ◆梅雨の季節に感謝しよう

日本再発見! -エウキ植物動物の公園(世界編)-

## メルボルン動物園 (オーストラリア)

1862年に開園したオーストラリア最古の動物園で、コアラやカンガルー、ウォンバット、エミューなどオーストラリア固有の動物が自然に近い環境の中で見られる。カンガルーたちは冬の寒さが厳しい地域から来たため、体毛の密度が濃く

長いのが特徴だ。世界最大の肉食有袋類であるタスマニアデビルは、闇の中から聞こえる鳴き声が悪魔の声にたとえられたのが名前の由来とされる。2本の鋭い牙も特徴的で、噛む力は獲物の骨も粉碎するほど強いという。





## 今日の心がけ◆意見やアイデアを共有しましょう

職場では複数の人が共通の目的に向かって協力しながら作業します。業務の完了や生産性の向上には、チームワークが重要です。

チームワークが良いと、互いがそれぞれに強みを活かし、仕事をより効率的に進められます。さらに、信頼関係が築かれることで、円滑なコミュニケーションが生まれ、問題が発生した場合にも迅速な対応が可能となります。

チームワークを高めるためには、チーム全員が安心して自分の意見を発言できる場を設けることもひとつの方法です。意見を共有することで、誤解やミスが防止できるだけでなく、新たなアイデアを生み出す参考にもなります。

さらに、チームの目標を明確にすることも重要です。全員が同じ方向を向き、目指すべき目標を認識することで、個々人のやるべきことが明確になり、モチベーションも高まります。

こうした工夫を重ねることで、職場の結束力は高まり、それに伴って、職場の雰囲気や仕事の内容もより充実していくのです。

## 今日の心がけ◆意見やアイデアを共有しましょう

私たちの生活は、進むか退くかといった大きな決断から、今日のお昼に何を食べるかといった小さな決断まで、毎日が決断の連続です。

決断とは、自らの意思をはっきりと決めることです。特に職場においては、それぞれの立場で適切な決断を下すことが仕事の成否に影響します。

より良い決断をするためには、まず正しい判断を行なうための関連情報をできる限り多く集めることが重要です。

そして、集めた情報をしっかり吟味することも欠かせません。例えば、入手した情報の出所や根拠を調べ、その活用方法を考えることが大切です。

どうするかが決まったら、それを実行に移します。行動によって心に決めたことが形に表われて初めて、一つの決断が完結したと言えるでしょう。

重要な決断が適切に行なわれるには、小さな決断の積み重ねが影響します。小さな決断ができなければ、大きな決断もできるはずがありません。

小さな決断を正しく行ない、いざという時の大きな決断に備えたいものです。

## 今日の心がけ◆小さな決断を大切にしましょう

日本再発見!—エーケ脊椎動物の公園(世界編)—

ブウィンディ原生国立公園  
(ウガンダ)

赤道直下に位置するアフリカ中央部の熱帯雨林の森には、絶滅の危機に瀕しているマウンテンゴリラのほぼ半数が生息している。「ゴリラ・トレッキング」は、群れで生活するマウンテンゴリラに近づいて、遊んだり食事をしたりする姿を1

時間ほど観察できる貴重な機会だ。茂みの奥から姿を現わした彼らと対面する時間は、夢のようなひとときだろう。筋肉質な体と胸を叩く行動などから凶暴なイメージをもたれがちだが、実際は草食が中心の平和主義者だ。





世の中は大小無数の「きめごと」によって成り立っています。四季や昼夜のめぐりなど自然界の法則から人と人との間で交わされる約束まで、私たちは様々なきめごとに囲まれて生活しています。

その中で、人間社会で交わされる約束に対して、どのように向き合っているでしょう。例えば「道路交通法」一つとっても、先を急ぐあまり、青信号ではないのに横断歩道を渡ってしまった経験はないでしょうか。

しかし、そうした行為を繰り返していると、いずれ大きな事故を引き起こしてしまうかもしれません。

また、「連休に家族で食事に行く」「借りた本を一週間以内に返す」など、家族や友人と交わした口約束も、大切なきめごとです。

こうした約束を守るのは、相手からの信用、信頼につながり、家庭生活や仕事を円滑に成り立たせる基盤となります。

どんなルールや約束も、誠意を尽くしてしっかりと守りたいものです。

今日の心がけ◆きめごとはきちんと守りましょう

本日は「夏越の祓」と呼ばれる神事が全国各地の神社で行なわれます。これは元日からの半年間で身についた穢れを祓い、無病息災を祈る行事です。

元々は宮中や神社において、一年の締めくくりである十二月と、折り返しとなる六月の晦日に行なわれる、年に二度の「大祓」という神道儀式でした。

日本人が大切にしてきた「清らかな心」とは、何かしらの能力や技術を以て「獲得」とするというものではなく、生来持っていると考えられ、清らかさを発露させるために、その障害となる穢れを「祓う」のです。

穢れを進んで身につけようとする人はいないでしょうが、それでも気づかないうちに身につけてしまうのが「穢れ」なのです。

仕事でも意識や考え方が、気づいた時には、ずれているということもあります。デスクの上の積み上がった書類も意識して積み上げたわけではないはずです。

ちょうど一年の半分となる本日、半年間を振り返って様々なものを点検し、穢れを祓うような意識で、後半に臨む心を整えたいものです。

今日の心がけ◆半年間を振り返ってみましょう

日本再発見! -エゾ脊椎動物のいる公園(世界編)-

## クックフォン国立公園 (ベトナム)

1962年にベトナムで初めて指定された国立公園で、2000種を超える植物や希少な動物が息づく生命の楽園だ。ガイド付きのジャングルトレッキングでは、運が良ければオナガザル科のサル、ラングールに出合える。細長い尾と長い手足

が特徴で、下半身に白いパンツをはいているような模様があるデラクルラングールや、頭が金色の毛で覆われたゴールデンヘッドラングールなどがある。霊長類保護センターに保護されているサルも併せて見学したい。

